

# 全専各連

ホームページから広報（PDF版）がダウンロードできます

No.195 2022年9月30日

発行：全国専修学校各種学校総連合会

発行人：福田 益和

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館11階

Tel:03(3230)4814 Fax:03(3230)2688



## 文部科学省 令和4年度 学校基本調査速報公表

文部科学省より令和4年5月1日現在の学校基本調査速報が8月24日公表された。なお新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、速報においては公表項目が学校数、在学者数、教員数等に限定して公表された。12月の確報値の際にすべての項目の集計結果が公表される予定となっている。

今回の調査で専修学校は、学校数は前年度に比べ34校減少し3,049校、また在籍者数は前年度に比べ26,567人減少し635,568人であった。

専修学校、各種学校についての主な速報値は次のとおり。

### 【専修学校】

◆**学校数** 全体では3,049校（国立8校、公立182校、私立2,859校）で、前年度より34校減少している。

都道府県別の学校数は、東京都393校、大阪府219校、愛知県174校、福岡161校の順が多い。

課程別では、専門課程を置く学校は前年度より36校減少して2,718校、高等課程を置く学校は3校減少して394校、一般課程を置く学校は5校増加して143校（課程併設校あり）。

◆**学生・生徒数** 全体では635,568人（男子276,970人、女子358,598人）となり、前年度比26,567人の減少。

課程別では、専門課程は25,513人（4.2%）減少して581,516人、高等課程は443人（1.3%）減少して33,634人、一般課程は611人（2.9%）減少して20,418人。

### 【各種学校】

◆**学校数** 1,046校（公立5校、私立1,041校）で、前年度より23校減少している。

◆**生徒数** 102,108人（男子54,853人、女子47,255人）で、前年度より361人（0.4%）減少している。

### 専修学校 学校制度創設からの推移

年	学校数 校	学生・生徒数 人			
		計	高等課程	専門課程	一般課程
昭和52	1,941	356,790	58,083	268,990	29,717
53	2,253	406,613	68,063	310,800	27,750
54	2,387	416,438	68,556	321,379	26,503
55	2,520	432,914	68,334	337,864	26,716
56	2,745	472,808	73,944	356,479	42,385
57	2,804	478,934	73,012	361,937	43,985
58	2,860	512,180	77,358	385,911	48,911
59	2,936	536,545	81,263	404,153	51,129
60	3,015	538,175	85,920	398,821	53,434
61	3,088	587,609	93,222	434,489	59,898
62	3,151	653,026	103,255	483,220	66,551
63	3,191	699,534	110,736	521,574	67,224
平成1	3,254	741,682	116,775	559,046	65,861
2	3,300	791,431	116,681	611,503	63,247
3	3,370	834,713	113,294	658,150	63,269
4	3,409	861,903	107,165	691,343	63,395
5	3,431	859,173	101,157	701,649	56,367
6	3,437	837,102	96,490	684,790	55,822
7	3,476	813,347	92,197	664,562	56,588
8	3,512	799,551	87,895	659,057	52,599
9	3,546	788,996	83,927	652,072	52,997
10	3,573	761,049	76,367	634,379	50,303
11	3,565	753,740	72,331	635,369	46,040
12	3,551	750,824	68,877	637,308	44,639
13	3,495	752,420	62,552	642,893	46,975
14	3,467	765,558	57,067	659,780	48,711
15	3,439	786,091	52,901	685,350	47,840
16	3,444	792,054	49,129	697,212	45,713
17	3,439	783,783	45,889	695,608	42,286
18	3,441	750,208	42,560	667,188	40,460
19	3,435	703,490	40,141	627,397	35,952
20	3,401	657,502	38,731	582,864	35,907
21	3,348	624,875	37,548	552,711	34,616
22	3,311	637,897	38,349	564,640	34,908
23	3,266	645,834	38,865	574,152	32,817
24	3,249	650,501	39,698	578,119	32,684
25	3,216	660,078	39,359	587,330	33,389
26	3,206	659,452	40,057	588,888	30,507
27	3,201	656,106	40,095	588,183	27,828
28	3,183	656,649	38,962	589,050	28,637
29	3,172	655,254	37,585	588,223	29,446
30	3,160	653,132	36,278	588,315	28,539
令和1	3,137	659,693	35,071	597,870	26,752
2	3,115	661,174	34,075	604,415	22,684
3	3,083	662,135	34,077	607,029	21,029
4	3,049	635,568	33,634	581,516	20,418

令和4年度 都道府県別専修学校数・在籍者数

Table with 8 columns: Prefecture, Number of Schools, Number of Students, Prefecture, Number of Schools, Number of Students, Prefecture, Number of Schools, Number of Students. Includes a total row at the bottom.

文部科学省 令和5年度 概算要求

文部科学省は令和5年度予算概算要求を取りまとめた。専修学校関係概算要求の中で、主な事項は次のとおり。

なお、( )内は前年度予算額。

[専修学校教育の振興に資する取組 23億円 (21億円)]

【人材養成機能の向上】

- 専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業【新規】：要求額4億円
○専修学校による地域産業中核的人材養成事業：要求額12億円 (9.8億円)
○専修学校における先端技術利活用実証研究：要求額3.4億円 (6.9億円)
○専修学校留学生の学びの支援推進事業：要求額1.7億円

(1.7億円)

【質保証・向上】

○職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進：要求額1.4億円 (1.4億円)

○専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力強化事業：要求額0.4億円 (0.4億円)

[専修学校の教育体制及び施設整備等に関する取組 14億円 (5億円)]

○私立学校施設整備費補助金：要求額10.2億円 (3億円)

○私立大学等研究設備整備費等補助金：要求額4.2億円 (2億円)

[専修学校への修学支援に資する取組 一億円 (293億円)]

○高等教育(私立専門学校分)の修学支援の着実な実施(内閣府計上)等：事項要求



令和5年度 専修学校関係概算要求

( )は前年度予算額

専修学校教育の振興に資する取組 23億円 (21億円)

【人材養成機能の向上】

新規 専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業 4.0億円 (新規)

専修学校と企業・業界団体等が連携し、各職業分野において受講者の知識・スキルを最新のものにアップデートできるリカレント教育のコンテンツを作成するとともに、業界団体を通じて教育コンテンツの提供を行う体制を作るモデルを構築する。

拡充 専修学校による地域産業中核的人材養成事業 12.0億円 (9.8億円)

中長期的に必要な専門的職業人材の養成に係る新たな教育モデルの構築を進めるとともに、地域特性に応じた職業人材養成モデルの開発を行う。

- ・学びのセーフティネット機能の充実強化 / ・専門学校と高等学校の有機的連携プログラムの開発・実証
・専修学校と業界団体等との連携によるDX人材養成プログラム

立 専修学校における先端技術利活用実証研究 3.4億円 (6.9億円)

産学が連携し、実践的な職業教育を支える実習授業等において、新型コロナウイルス感染症の影響下等、遠隔教育をソフト面から支えるモデルを開発し、新たな教育手法の普及促進を図る。

立 専修学校留学生の学びの支援推進事業 1.7億円 (1.7億円)

新型コロナウイルス感染症の影響下で留学生が渡日できない状況にあっても、質の高い学びを開始・継続可能な専修学校留学生の総合的受入れモデルの構築。

【質保証・向上】

立 職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進 1.4億円 (1.4億円)

専修学校における研修プログラム開発や研修体制づくり等による教育体制の充実を図るとともに、先進モデルの開発等による職業実践専門課程の充実に向けた取組や教学マネジメントの強化の推進等を通じて、職業教育の充実及び専修学校の質保証・向上を図る。

立 専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力強化事業 0.4億円 (0.4億円)

専門学校や高等専修学校が担う職業教育等の魅力発信力を強化するため、効果的な情報発信の在り方について検討・検証を行う。

専修学校の教育体制及び施設整備等に関する取組 14億円 (5億円)

立 私立学校施設整備費補助金 10.2億円 (3億円)

教育装置、学校施設等の耐震化、アスベスト対策等に係る経費のほか、太陽光発電の導入等のエコ改修等の学校環境改善に係る経費を補助

立 私立大学等研究設備整備費等補助金 4.2億円 (2億円)

新型コロナウイルス感染症等対策を講じながら、授業を実施する際に必要な情報処理関係設備の整備に係る経費を補助

専修学校への修学支援に資する取組 一億円 (293億円)

立 高等教育(私立専門学校分)の修学支援の着実な実施(内閣府計上)等 一億円 (293億円)

低所得世帯の真に支援が必要な子供に対する高等教育の負担軽減の実施に必要な経費

その他関係予算

立 高等学校等就学支援金交付金(内数) 4,114億円 (4,114億円)

立 高校生等奨学給付金(内数) 162億円 (151億円)

立 日本学生支援機構の奨学金事業(内数) 一億円 (1,015億円)

※貸与型無利子奨学金(一般会計)分

立 国費外国人留学生制度(内数) 184億円 (184億円)

※このほか、専修学校における新型コロナウイルス感染症対策に係る経費を事項要求。

(注) 予算額が「-」のものは事項要求。

(注) 四捨五入の関係で、係数は合計と一致しない。

## 令和4年度ブロック会議報告

令和4年度のブロック会議は、8月末時点で以下の6地域で開催（オンライン1、対面5地域）。（詳細は、広報全専各連プラス WEB に掲載）。

- 九州ブロック会議（7月21日（木）沖縄県：【オンライン開催・配信会場】パシフィックホテル沖縄 参加者約110名）
- 近畿ブロック会議（7月25日（月）和歌山県：【会場】ホテルグランヴィア和歌山 参加者約100名）
- 中国ブロック会議（7月29日（金）広島県：【会場】グランドプリンスホテル広島 参加者約100名）
- 北関東信越ブロック会議（8月23日（火）群馬県：【会場】Gメッセ群馬 参加者約170名）
- 中部ブロック会議（8月26日（金）三重県：【会場】都ホテル四日市 参加者約130名）
- 四国ブロック会議（8月26日（金）愛媛県：【会場】東京第一ホテル松山 参加者約60名）

## 新任ブロック長就任のお知らせ

- 東北ブロック〔敬称略。以下同。〕  
杉原 長次 氏（福島県・尚志学園専修学校）
- 南関東ブロック  
多 忠貴 氏（東京都・日本電子専門学校）
- 中部ブロック  
青池 浩生 氏（福井県・青池調理師専門学校）
- 中国ブロック  
平田 眞一 氏（岡山県・中国デザイン専門学校）



一般財団法人  
職業教育・キャリア教育財団

## TCE 財団 理事会・評議員会

TCE財団第142回理事会（ハイブリッド形式・アルカディア市ヶ谷・出席者18名）を6月10日に、第95回評議員会（ハイブリッド形式・アルカディア市ヶ谷・出席者12

○九州ブロック

大村 陽之介 氏（福岡県・大村美容ファッション専門学校）

## 協会住所変更

◆一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会

那覇市松尾1丁目6番1号 沖縄県教職員共済会館  
「八汐荘」3階

## 全専各連副会長 常置委員会・特別委員会委員長

9月13日の役員改選後第1回の全専各連常任理事会において、副会長が次の通り承認された。また、常置委員会・特別委員会の委員長も報告された。敬称略。

◎副会長

吉田 松雄（吉田学園情報ビジネス専門学校）、八文字典昭（水戸経理専門学校）、多 忠貴（日本電子専門学校）、河原 成紀（河原ビューティモード専門学校）、大村 陽之介（大村美容ファッション専門学校）

◎常置委員会 委員長

○総務委員会 関口 正雄（東京メディカル・スポーツ専門学校）、○組織委員会 浦山 哲郎（富山情報ビジネス専門学校）、○財務委員会 八文字典昭（水戸経理専門学校）

◎特別委員会 委員長

○個人立校振興委員会 島袋 永伸（専門学校那覇日経ビジネス）、○職業教育の質保証・向上のための検討委員会 関口 正雄（東京メディカル・スポーツ専門学校）

TCE 財団だより

<https://www.sgec.or.jp>

J 検 <https://jken.sgec.or.jp/>

B 検 <https://bken.sgec.or.jp/>

名）を6月28日に、第143回理事会（オンライン形式・TCE財団事務局・出席者16名）を7月4日に開催した。

理事会では、福田益和理事長が議長に就任。議事録署名人は議長及び監事。評議員会では、平田眞一評議員が議長、議事録署名人は堀口一秀評議員。

## ○第142回理事会・第95回評議員会

## 【第1号議案 令和3年度事業報告】

配布資料に基づき、事務局が会議の開催、教員研修・研究、認定・表彰、評価・認証、検定、保険、出版・広報等、各事業の内容を説明。異議なく原案どおり拍手承認。

## 【第2号議案 令和3年度決算報告ならびに監査報告】

配布資料に基づき、事務局が概要と詳細及び公益目的支出計画実施報告書について説明。その後、岡部隆男財務担当常務理事からの補足説明に続き、監事より監査報告（理事会・荒川栄一監事、評議員会・戸早秀暢監事）が行われ、特に異議なく、全会一致で原案どおり承認。

## 【第3号議案 令和4年度第1次補正予算】

配布資料に基づき、事務局が説明。特に異議なく、全会一致で原案どおり承認。

## 【第4号議案 評議員会の招集について(理事会のみの審議事項)】

配布資料に基づき、事務局が第95回評議員会の招集について説明。特に異議なく、全会一致で原案どおり承認。

## 【第4号議案 理事の選任について(評議員会のみ審議事項)】

配布資料に基づき事務局が理事の選任について説明。各候補者について、特に異議なく全て全会一致で承認された。

## ○第143回理事会【第1号議案 代表理事等の選定】

配布資料に基づき、事務局が選定手続きについて説明。理事の互選により、新理事長の就任（福田理事長が再任）後、副理事長及び常務理事が全会一致で選定された。各事業別の担当委員長等の選任についても協議が行われ、選任された。

以上により、議長が全ての議案の審議、承認を確認し議事を終了した。

**情報検定（J検）****出願・受験状況**

文部科学省後援・情報検定（J検）令和4年度前期情報活用試験（ペーパー方式・6月19日）の結果及び令和4年度前期情報システム試験（ペーパー方式・9月11日）、C B T方式（4月1日～8月31日受付分）の出願状況は以下のとおり。

## ●前期情報活用試験 結果(ペーパー方式・6月19日実施)

出願団体数・総出願者数	15団体・2,341名
3級 出願者数	672名
受験者数	628名
合格者数・合格率	398名・63.4%
2級 出願者数	923名
受験者数	731名
合格者数・合格率	282名・38.6%
1級 出願者数	746名
受験者数	630名
合格者数・合格率	262名・41.6%

## ●前期情報システム試験 出願状況(ペーパー方式・9月11日実施)

出願団体数・総出願者数	11団体・3,036名
基本スキル 出願者数	1,558名
プログラミングスキル 出願者数	828名
システムデザインスキル 出願者数	650名

## ●C B T方式(4月1日～8月31日受付)

総出願者数(団体・個人)	7,134名
情報活用試験 出願者数	4,799名
3級	2,854名
2級	1,527名
1級	418名
情報システム試験 出願者数	2,084名
基本スキル	973名
プログラミングスキル	509名
システムデザインスキル	602名
情報デザイン試験 出願者数	251名
初級	240名
上級	11名

**ビジネス能力検定（B検）ジョブパス****受験状況・結果**

令和4年7月3日(日)に文部科学省後援令和4年度前期ビジネス能力検定（B検）ジョブパスが実施された。

出願団体数	72団体
出願総数	7,090名

## ■ 3 級

出願者数	5,826 名	
受験者数	5,469 名	
合格者数	4,002 名	合格率 73.2%

## ■ 2 級

出願者数	1,264 名	
受験者数	1,174 名	
合格者数	891 名	合格率 75.9%

(通年実施の CBT 方式は含みません)

## 中堅教職員研修会 キャリア・サポーター養成講座 開催

本財団による、中堅教職員研修会「学級経営・学生対応(学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング)」(7月14日～15日、東京都・主婦会館プラザエフ、受講者12名)、「キャリア・サポーター養成講座」(8月3日～5日、東京都・日本電子専門学校、受講者18名)、「教職員のキャリアデザインワークショップ(これからの専修学校を担う自立型教員育成研修)」(8月22日～24日、東京都・主婦会館プラザエフ、受講者8名)、「能動的学修(職業人としての汎用的能力を養うアクティブ・ラーニングの体験学習)」(9月5日～6日、東京都・主婦会館プラザエフ、受講者21名)、「体系的カリキュラム・シラバス作成(インストラクショナル・デザイン)」(9月16日、オンライン・オンデマンド、受講者20名)、が開催された。

いずれの研修会も専修学校教職員の育成に意義深い内容となり、盛会のうちに全日程を終了。

### お知らせ

## 全国専修学校総覧の刊行について

本財団では、専修学校制度発足以来、文部科学省、各都道府県学事所管部課をはじめ、関係所轄庁のご協力を得て、全国国公立の専修学校すべてを網羅した「全国専修学校総覧」を刊行し、高等学校における進路指導資料、また官公庁や公的機関における準拠資料、各企業の調査資料として幅広く活用されております。

本年度も関係諸官庁、各専修学校等のご協力を得て、令

和5年版を刊行し、高等学校進路指導部等の関係部署に9月末に送付する予定です。

刊行に当たりまして、ご協力をいただきました皆様に、厚く御礼を申し上げます。

## 令和4年度 予定日程

### <役員会・総会等>

## ●都道府県協会等代表者会議

令和4年11/25(金)

東京都・アルカディア市ヶ谷

## ●全専各連第136回理事会・全専協理事会合同会議

令和5年2/24(金)

東京都・アルカディア市ヶ谷

### <TCE 財団役員会>

## ●第144回理事会

令和4年10/17(月)

東京都・アルカディア市ヶ谷

## ●第145回理事会・96回評議員会合同会議

令和5年3/20(月)

東京都・アルカディア市ヶ谷

### <令和4年度ブロック会議>

## ●南関東ブロック会議

令和4年10/26(水)

千葉県・京成ホテルミラマーレ

### <研修会>

## ●専門学校の教育訓練・運営に係る内部質保証人材の養成講習

令和5年2月予定

東京都・アルカディア市ヶ谷

### <検定試験>

## ●文部科学省後援・情報検定(J検)

◇令和4年度後期試験

【情報活用試験】令和4年12/18(日)

【情報システム】令和5年2/12(日)

◇CBT試験

【情報活用・情報システム・情報デザイン】通年実施

※情報デザインは、C B T方式のみで実施。

◆令和4年度ブロック会議

●文部科学省後援・ビジネス能力検定(B検)ジョブパス

◆第32回全国高等専修学校体育大会

◇令和4年度後期試験

【2級・3級】令和4年12/4(日)

◇C B T試験

【1級】令和4年9/10(土)～18(日)

令和5年2/4(土)～12(日)

【2級・3級】通年実施

<その他>

●第77回全国私立学校審議会連合会総会

書面開催

## 【広報全専各連 プラスWEB掲載記事】

詳細は、全専各連ホームページ【広報全専各連】

→プラスWEBよりご覧いただけます。

<https://www.zensenkaku.gr.jp/koho/index.html>

専修学校の「いま」を知る あなたの「未来」がここにある  
知 専修学校 #知る専

令和3(2021)年にスタートした文  
部科学省がお届けするプロジェクト

「専修学校 #知る専」。「専修学校

#知る専」は、特設のポータルサイト

やTwitter、YouTube、メルマガを

結びつけて専門学校などの情報発信を強化するもので

す。専門学校や学生などから投稿される動画や旬な情報

が掲載される、専修学校と文部科学省とで作る「参加型」の

新しい形の広報プロジェクトです。

文部科学省HP (<https://shirusen.mext.go.jp/>)

Twitter、YouTube、Instagram から、いますぐ！検索！！



## 会員校の皆様へ

### 『授業目的公衆送信補償金制度』をご存じですか？

平成30年に著作権法が改正され、指定管理団体（(一社)授業目的公衆送信補償金等管理協会<以下、SARTRAS(サートラス)>）による授業目的公衆送信に係る補償金制度が令和3年度から本格実施されました。今後、ICTの活用により授業等の過程で利用する著作物について、個別に著作権者等の許諾を得ることなく、SARTRASを通じて著作権者に補償金を支払うことにより、著作物を円滑に利用できるようになります。

補償金額や規程に関する詳細は、文化庁 (<https://www.bunka.go.jp/>) または、SARTRAS ホームページ (<https://sartras.or.jp/>) でご確認ください。

また、本件に関わる情報等は全専各連ホームページでもご案内しています。

遠隔教育の実施にあたっては、同法の趣旨を十分に理解したうえで適切に対応してください。

## 会員校の皆様へ

### 入学辞退者への授業料返還

募集要項等に、3月31日までに入学辞退の意思表示をした者に授業料等を返還することを明記してあるか、不適切な記載がないかも併せ、改めてご確認ください。ご心配な点は都道府県所管課等とご相談ください。

本件に関わる通知等は全専各連ホームページにてご覧いただけます。

## 日本政策金融公庫(国の教育ローン)「災害特例措置」等のご案内

令和3年福島県沖を震源とする地震、台風による災害、豪雨及び暴風雨による災害、東日本大震災などにより被害を受けた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

日本政策金融公庫(国民生活事業)では、「国の教育ローン」につきまして、震災により被害を受けた皆さまに対して、貸付利率の引下げなどの「災害特例措置」を実施しています。また、新型コロナウイルス感染症にかかる特例措置についてもご案内しています。

お問い合わせは、**教育ローンコールセンター 0570-008656 (又は03-5321-8656)**



■情報検定(J検)は情報教育の柱となる「創る・使う・伝える」の三要素を網羅し、これからも学校教育を支援していきます。

<https://jken.sgec.or.jp/>

#### 情報活用試験

ペーパー方式(団体出願のみ実施)

令和 4 年度後期

試験日 令和 4 年12月18日(日)

出願期間 手書願書—9月1日~11月8日(願書必着日)  
電子願書—9月1日~11月15日(願書必着日)

実施級/受験料 1級—4,500円  
2級—4,000円  
3級—3,000円

#### 情報デザイン試験

CBT方式のみ

詳細はJ検HPを参照下さい。

実施級/受験料 初級—4,000円  
上級—4,500円

※新型コロナウイルス感染拡大に伴う試験の対応については、HPにて最新の情報をご確認ください。

#### 情報システム試験

ペーパー方式(団体出願のみ実施)

令和 4 年度後期

システムエンジニア認定

プログラマ認定

試験日 令和 5 年 2 月12日(日)

出願期間 手書願書—11月1日~12月16日(願書必着日)  
電子願書—11月1日~令和 5 年 1 月 6 日(//)

実施級/受験料 基本スキル ————— 3,500円  
システムデザインスキル — 3,000円  
プログラミングスキル ——— 3,000円

#### 情報検定全科目でCBT方式がご利用いただけます!

\*パソコン画面で受験できる試験方式です。

従来のペーパー方式に加え、CBT (Computer Based) Testing) 方式でも実施いたします。

\*個人受験をご希望の方はCBT方式をご利用ください。

◇各試験で随時受付中です。

◇受験料はペーパー方式と同一料金です。

◇自由に試験日が設定でき、合否結果もその場で分かります。

J検CBT無料体験版でお試しいただけます。(ホームページよりご利用ください。)

◇「併願受験」をサポートするプランも実施中です。

不合格、または欠席となった科目は1年間合格するまで何度でも受験できます。

(団体のみ対象。詳細はwebにてご確認ください。)



文部科学省後援

## ビジネス能力検定ジョブパス

(<https://bken.sgec.or.jp/>)

従来のペーパー方式(全国一斉)に加え、2級3級ではCBT方式を導入。試験日時を自由に設定でき、分散した実施が可能です。(1級はCBT方式のみ)  
(検定試験の最新情報は、B検ホームページをご確認ください)

1 級 (令和 4 年度後期)

■試験期間/令和 5 年 2 月 4 日(土)~

2 月12日(日)

(上記期間内から選択可。ただし会場設営状況による。詳細はホームページをご覧ください)

■出願期間/団体受験:12月5日~

試験日の2週間前まで

/個人受験:12月5日~

試験日の3週間前まで

■実施級・受験料/1級(8,500円)

(2級合格者が所定の期間に受験する場合5,500円※但し、1回のみ)

#### 【想定受験者と評価内容】

●就職活動を展開中の大学生・専門学校生等から入社1年目から3年目程度の社会人。●2級の知識、技法を前提とし、問題解決を円滑に推進するために必要となる論理的な思考、情報発信と表現技法、および基礎的なマネジメント技法を実践的に評価する。

2 級・3 級 (令和 4 年度後期) [ペーパー方式]

■試験日/令和 4 年12月4日(日)

■出願期間/9月1日~10月下旬

■実施級・受験料/2級(4,200円)

3級(3,000円)

#### 【想定受験者と評価内容】

2級●就職活動のスタートを間近に捉えた大学生、専門学校生等から社会人1、2年目程度。●3級の知識を前提とし、企業の役割や責任と権限などを理解するとともに、効率的な業務の進め方、問題解決のための基本的なコミュニケーション、情報活用の技法を評価する。

3級●就職活動を視野に捉えた、高校3年生、大学生・専門学校生等●入学者自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提にビジネス常識および、基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身につけておくべき知識を評価する。

# 文部科学省認可 学生・生徒24時間共済

組合認可番号：27 文文科総第1713号  
共済認可番号：27 文文科総第1714号  
共済認可番号：28 文文科総第1718号

～卒業までの安心を全ての学生・生徒に提供したい～

## 学生・生徒24時間共済の特長 学生・生徒24時間共済補償【基本】

- ◇補償は毎年4月1日開始！  
掛け金の振込は4月15日まで！
- ◇暫定人数での契約が可能！  
概算契約・確定精算方式を採用！
- ◇名簿の提出不要！  
契約時の手続きを大幅に簡略化！
- ◇低いコストで手厚い補償を提供！  
共済制度は低コストでの運営が可能である為  
民間の保険会社より安い掛金で 手厚い補償を提供  
1名あたり年間平均共済掛金：6,500円(100～499名)

- ◇剰余金の割戻  
共済事業から発生する剰余金がある場合  
組合員 である学校に「剰余金の一部」を還元  
することが可能

右記の基本プランの他、医療福祉分野プラン  
など複数プランがございます。

学生・生徒が病院等の臨床実習先で感染症に  
罹災したことによる治療費、検査/予防費を  
補償します。



キャリア教育共済協同組合  
Mutual Aid Cooperatives Career Education

お問い合わせ先  
フリーダイヤル ☎ 0120-014-888

本部事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目2-25 (全国専修学校各種学校総連合会/一般財団法人職業教育・キャリア教育財団事務所内)  
大阪事務局 〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町9丁目1-22

### 専修学校・各種学校の保険ご担当者様

### 私学法改正に対応

**学生・生徒**

授業や実習、インターンシップ等におけるケガや  
他人に対する賠償責任を補償します。

**学校・教職員**

学校に対する訴訟やサイバー攻撃など、  
多様化するリスクに備えられます。

**理事・監事**

第三者や学校法人からの、  
役員個人に対する訴訟に備えられます。



## 学校のリスクを補償 変化の激しい時代だからこそ

### “もしも”に備え安定的な学校運営を！



一般財団法人職業教育・キャリア教育財団がつくった、専修学校・各種学校のための保険です。

加入校は約 **1,600**校 / 加入者は約 **21**万人

《取扱代理店》 **株式会社 第一成和事務所** 東京都中央区日本橋久松町11番6号 日本橋TSビル 8F

お問合せ先 **TEL : 03-3669-2831** **HP : <https://www.d-seiwa.co.jp/>**

《引受保険会社(幹事)》

**東京海上日動**

**三井住友海上**

**損害保険ジャパン**

このチラシは一般財団法人職業教育・キャリア教育財団の保険制度の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡  
してあります保険約款になりますが、ご不明な点がございましたら代理店までお問合せください。